

お客様各位

PIMCOの最高投資責任者の後継と運用の新体制について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が設定・運用している【ブラジル公社債ファンド(愛称:リアルスター)】の投資対象ファンドの運用会社であるパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(PIMCO)は、9月26日、同社の最高投資責任者であったビル・グロース氏が退社し、副最高投資責任者(副CIO)の一人であったダニエル・アイバシン氏が、グループ最高投資責任者(グループCIO)に任命されたことを発表いたしました。

(別添、PIMCOのプレスリリースをご参照ください。)

PIMCOでは、今回の体制変更は、これまでも継続的に取り組んで来た運用体制強化の一貫であり、お客様に優れた資産運用サービスを提供するという経営理念に沿うものであると発表しております。

【ブラジル公社債ファンド(愛称:リアルスター)】の投資対象ファンドについて、現時点において運用担当者の変更がないことをPIMCOに確認しており、商品品質やパフォーマンスに直接の影響を及ぼすものではないものと弊社では考えております。

弊社では、今後ともPIMCOの運用体制につきましては確認を行っていくとともに、更なる運用パフォーマンスの向上に努める所存です。引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申し込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

〈 三井住友信託銀行にて取り扱う投資信託についてのご注意事項 〉

■投資信託におけるリスクについて

- 投資信託は、直接もしくは投資対象投資信託証券を通じて、主に国内外の株式や債券、不動産投資信託証券等に投資します。投資信託の基準価額は、組み入れた株式や債券、不動産投資信託証券等の値動き、為替相場の変動等の影響により上下します。これによりお受取金額が投資元本を割り込むおそれがあります。投資信託の運用により信託財産に生じた損益は、全て投資信託をご購入いただいたお客さまに帰属します。

■投資信託にかかる費用について

- 投資信託のご購入からご解約・償還までにお客さまにご負担いただく費用には以下のものがあります。費用等の合計は以下を足し合わせた金額となります。

(1)ご購入時・ご解約時に直接ご負担いただく費用

- 申込手数料: 申込金額に応じ、ご購入時の基準価額に対して最大3.24%(税込)の率を乗じて得た額
- 信託財産留保額: ご購入時の基準価額に対して最大0.1%の率を乗じて得た額、ご解約時の基準価額に対して最大0.5%の率を乗じて得た額
- 解約手数料: かかりません

(2)保有期間中に信託財産から間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬: 純資産総額に対して最大年2.16%(税込)の率を乗じて得た額。なお、商品により別途運用実績に基づき計算される成功報酬額がかかる場合があります。
- その他の費用: 証券取引に伴う売買委託手数料等の手数料または税金、先物・オプション取引に要する費用、組入資産の保管に要する費用、投資信託財産に係る会計監査費用(各々必要な場合は消費税等を含みます)など(運用状況等によって変動するため、料率、上限額を示すことができません)

これらの費用の合計額、計算方法等については、お客さまがご購入されるファンドやご購入金額等によって異なりますので、表示することができません。

各ファンドにかかる費用の詳細は最新の契約締結前交付書面(目論見書・目論見書補完書面)等でご確認ください。

■その他重要なお知らせ

- 投資信託は預金とは異なり元本および利回りの保証はありません。また、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
- ファンドにより、信託期間中に解約のお申し込みができない場合があります。
- 取得のお申し込みの際は、最新の契約締結前交付書面(目論見書・目論見書補完書面)を事前にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。
- 当社は投資信託の販売会社であり、ご購入・ご解約のお申し込みについて取り扱いを行います。投資信託の設定・運用は運用会社が行います。
- 投資信託にはクーリング・オフ制度は適用されません。
- 本資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込みは



商号 三井住友信託銀行株式会社
登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会

◆設定・運用は



商号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

プレスリリース

PIMCO、グループ最高投資責任者にダニエル・アイバシンを任命

同時にアンドリュー・ポールズ、マーク・キーセル、ヴィルジニー・メゾヌーヴ、
スコット・マザー、ミhil・ウォラーを最高投資責任者に任命

<抄訳>

2014年9月26日

- ビル・グロース氏が運用主担当を務めていたトータル・リターン・ファンド(米国籍)のポートフォリオ・マネージャーにマーク・キーセル、スコット・マザー、ミhil・ウォラーが指名されました。
- 同様に、同氏が運用主担当を務めていたアンコンストレインド・ボンド・ファンド(米国籍)のポートフォリオ・マネージャーには、サーミル・パリーク、ダニエル・アイバシン、モフセン・ファハミーが指名されました。
- 最高経営責任者(CEO)のダグラス・ホッジ及び、社長のジェイ・ジェイコブズは、引き続き現職にとどまります。

グローバル資産運用会社である PIMCO (パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー)は、ビル・グロース氏の退社を受け、ダニエル・アイバシンをグループ最高投資責任者(グループ CIO)に任命したと発表しました。さらに PIMCO は、グローバル債担当 CIO としてアンドリュー・ポールズ、グローバル・クレジット担当 CIO としてマーク・キーセル、株式担当 CIO としてヴィルジニー・メゾヌーヴ、米国コア戦略担当 CIO としてスコット・マザー、リアル・リターン及びアセットアロケーション担当 CIO としてミhil・ウォラーをそれぞれ任命しました。最高経営責任者(CEO)のダグラス・ホッジ及び、社長のジェイ・ジェイコブズは、引き続き PIMCO の経営戦略、クライアント・サービス、オペレーションの指揮を執ります。

また、PIMCO は、ビル・グロース氏が運用主担当を務めていたトータル・リターン・ファンド(米国籍)のポートフォリオ・マネージャーにマーク・キーセル、スコット・マザー、ミhil・ウォラーを指名し、同様に、アンコンストレインド・ボンド・ファンド(米国籍)のポートフォリオ・マネージャーとしてサーミル・パリーク、ダニエル・アイバシン、モフセン・ファハミーを指名しました。ダニエル・アイバシンは、グループ CIO としての職務に加え、オルタナティブ戦略、ストラクチャード・クレジット戦略、インカム戦略の運用統括を行います。マネージング・ディレクターでポートフォリオ・マネージャーのクリス・ダイアリナスは、2014年10-12月期に研究休暇より復帰します。尚、以上の変更は本日付でなされます。

ダグラス・ホッジは次のように述べています。

「PIMCO は、お客様、社員、親会社であるアリアンツ・グループに対する責務として、運用における体制変更を円滑に行うため、ビル・グロス氏の後継者選出についての十分なプロセスを確立しておりました。それに基づき、今、PIMCO の運用チームにおけるリーダーシップは資産運用業界でトップを行く経験豊富な運用者達に引き継がれました。新しく任命された運用者は PIMCO の投資哲学を踏襲し、実績を積んできたプロフェッショナルばかりです。本日の発表を以って、PIMCO の運用体制におけるリーダーシップの移行の手続きは完了致しました。今回の変更は、これまで継続的に取り組んで来た運用体制強化の一貫であり、お客様に優れた資産運用サービスを提供するという経営理念に沿うものであります。」

ダニエル・アイバシンは、次のように述べています。「PIMCO は、長い年月をかけ世界でトップクラスの運用者を結集し、実績あるトップダウンとボトムアップの融合に基づく運用プロセスを築いてきました。このプロセスは、今後も PIMCO の投資哲学の指針となり、将来にわたってお客様への運用サービスのご提供に資するものと考えています。5 人の CIO と私は、今後も一貫してお客様のご期待にお応えできる優れた運用をご提供することに専心して参ります。」

新たな体制において、アンドリュー・ボールズとミヒル・ウォラーは、それぞれ欧州・アジア地域と米国での、私共のポートフォリオ運用チームの運営とグローバルなトレーディング業務の統括という、新たな職務にも従事することとなります。

アリアンツ・グループの最高経営責任者(CEO)であるミハエル・ディークマンは、次のように述べています。「PIMCO は 2000 年にアリアンツ・グループの傘下に入って以降、目覚ましい成長を遂げ、アリアンツ・グループの成功に一貫して貢献してきました。PIMCO の社員同様、われわれアリアンツ・グループも、グロス氏の会社創設以来 43 年にわたる貢献に感謝し、今後のご活躍を心よりお祈りしています。本年 1 月より新たに始動した経営及び運用の体制と、十分に準備された後継者の選出手続きにより、われわれは PIMCO の運用・経営陣に全幅の信頼を寄せています。」

ダニエル・アイバシンはさらにこう述べています。「PIMCO には、運用及びリーダーシップについて豊富な経験を持つ多くの人材が揃っており、それにはグローバルに配置された 240 名を超えるポートフォリオ・マネージャーが含まれます。世界中の PIMCO の拠点に在籍する社員たちは、今回の転換期を乗り越えるための組織的な基盤、能力、専門知識、そして強い意志を備えています。これに加え引き続き、会社のあらゆるレベルにおいて、PIMCO の今後を担う人材の獲得も継続して参ります。現在も、そしてこれからも、PIMCO はお客様のために全力を尽くして参る所存です。」

《略歴》

ダニエル・J・アイバシ**マネージング・ディレクター**

ニューポートビーチを拠点とする、グループ最高投資責任者(グループ CIO)、モーゲージ・クレジット・ポートフォリオ・マネジメントの統括責任者であり、PIMCO のクレジット・ヘッジファンドとモーゲージ担保証券(MBS)のオポチュニスティック戦略のリード・ポートフォリオ・マネージャーを務め、インカム戦略の統括もする。PIMCO のエグゼクティブ・コミッティのメンバー、インベストメント・コミッティのメンバーを務める。1998 年に PIMCO へ入社する以前は、ベア・スターンズの ABS グループに勤務し、さらにそれ以前は T.ロウ・プライスやフィデリティ・インベストメンツにも勤めた。投資業務経験 23 年。シカゴ大学ビジネススクールにて分析ファイナンスの MBA を取得。オクシデンタル・カレッジにて経済学学士号取得。

アンドリュー・ポールズ**マネージング・ディレクター**

ロンドンを拠点とする、グローバル担当の最高投資責任者(CIO)、PIMCO のインベストメント・コミッティのメンバー、欧州ポートフォリオ運用の統括責任者。ロンドンとミュンヘンにオフィスを持つ PIMCO の欧州投資チームを指揮し、さらに、アジア・パシフィック地域の運用チームも統括する。先進国及び新興国債券市場を組み合わせたグローバル・アドバンテージ戦略を含む、グローバル及び欧州ポートフォリオを運用する。現在の職務へ就く以前は、ニューポートビーチを拠点とし、グローバル・ポートフォリオ・マネージャー、及び PIMCO のグローバル・ストラテジストを務めた。2006 年に PIMCO へ入社する以前は、英 Financial Times 紙に 8 年間在籍し、ロンドン、ニューヨーク、ワシントン DC にて経済特派員及びコラムニストを務めた。投資業務経験 16 年。オックスフォード大学より学士号、ハーバード大学より修士号を取得。また、オックスフォード大学キープル・カレッジにて経済学講師の経験がある。

クリス・ダイアリナス**マネージング・ディレクター**

ニューポートビーチを拠点とするポートフォリオ・マネージャーで、PIMCO インベストメント・コミッティのメンバー。債券投資について広範囲にわたり執筆及び講義経験を有する。The Journal of Portfolio Management の編集委員のボードメンバーや、AIMR (米国投資管理調査協会)の債券カリキュラム・コミッティのメンバーを務めた。投資業務経験 36 年。ポモナ・カレッジにて学士号取得後、シカゴ大学ビジネススクールで MBA を取得。1980 年 PIMCO 入社。

モフセン・ファハミー**マネージング・ディレクター**

ニューポートビーチを拠点とするジェネラリスト・ポートフォリオ・マネージャー。2014 年に PIMCO へ入社する以前は、ムーア・キャピタル・マネジメントにてシニア・ポートフォリオ・マネージャー、最高執行責任者(COO)も務めた。それ以前にはロンドンにて、東海銀行の欧州子会社 Tokai Bank Europe の債券及び為替の自己勘定取引の共同統括責任者、ソロモン・ブラザーズのレバレジッド投資統括責任者、ゴー

ルドマン・サックスの自己勘定取引担当エグゼクティブ・ディレクター、さらにそれ以前にはJPモルガンのニューヨーク及びロンドン拠点で自己勘定取引のトレーダーを務めた。また、世界銀行では7年にわたり運用担当者を務めた。投資業務経験30年。スタンフォード大学よりMBAを取得、オハイオ州立大学より土木工学の修士号、エジプト、カイロのエイン・シャムズ大学より土木工学の学士号を取得。

マーク・キーセル

マネージング・ディレクター

ニューポートビーチを拠点とする、クレジット担当の最高投資責任者(CIO)、ジェネラリスト・ポートフォリオ・マネージャー。社債ポートフォリオ運用のグローバル統括責任者であり、運用戦略及びポートフォリオ・マネジメント・グループのシニア・メンバー。2012年、米モーニングスター社より年間最優秀債券マネージャー賞を受賞、2010年はファイナリストに選出された。グローバル・クレジット市場に関する執筆が多数あり、PIMCOのGlobal Credit Perspectivesを創刊した。金融メディアに定期的に登場。1996年にPIMCOへ入社し、現在の職務に携わるまでは、PIMCOの株式デリバティブ業務を統括し、シニア・クレジット・アナリストを務めた。投資業務経験22年。ミシガン大学にて学士号を取得後、シカゴ大学ビジネススクールにてMBAを取得。

ヴィルジニー・メゾヌーヴ、CFA

マネージング・ディレクター

ロンドンを拠点とする株式担当の最高投資責任者(CIO)で、株式グローバル統括責任者。2014年にPIMCOへ入社する以前は、シュローダー・ピーエルシーのグローバル及びインターナショナル株式統括責任者を務めた。それ以前には、ニューヨークのクレイ・フィンレイにて共同最高投資責任者(Co-CIO)、ディレクターを務め、さらにそれ以前には、ステート・ストリート・リサーチ・アンド・マネジメントにて株式ポートフォリオ・マネージャーを、バッテリーマーチ・フィナンシャル・マネジメントにてポートフォリオ・マネージャーを務めた。投資業務経験27年。パリのドーフィーヌ大学にて中国語(北京語)の修士号、パリのEcole Supérieure Libre des Sciences Commerciales AppliquéesよりMBA、さらに北京の中国人民大学より政治学の学士号を取得。

スコット・マザー

マネージング・ディレクター

ニューポートビーチを拠点とする米国コア戦略担当の最高投資責任者(CIO)で、グローバル・ポートフォリオ運用統括責任者。現在の職務に就くまでは、PIMCOの欧州ポートフォリオ運用の統括責任者として、ユーロ圏及び欧州全域のポートフォリオ運用を行うほか、アリアンツの関係各社との連携を担当した。また、アリアンツ・グローバル・インベスターズ KAG のマネージング・ディレクターも務めた。それ以前は、PIMCOのモーゲージ債及びABSチームの共同責任者を務めた。1998年にPIMCO入社以前は、ニューヨークのゴールドマン・サックスにおいて、モーゲージ債専門のトレーダーとして勤務。投資業務経験20年。ペンシルベニア大学で工学学士号、修士号を取得。

ミヒル・ウォラー

マネージング・ディレクター

ニューポートビーチを拠点とするリアル・リターン及びアセットアロケーション担当の最高投資責任者 (CIO) で、リアル・リターン及びマルチアセット・ポートフォリオ運用統括責任者。2001 年に PIMCO へ入社する前は、カリフォルニア大学バークレー校にて博士課程修了後のリサーチ・アソシエイト (ポスト・ドク) として勤務。またスタンフォード線型加速器センター (SLAC) では、物理物質と反物質の違いについて説明するモデルを構築した。2012 年に共著『Intelligent Commodity Indexing』をマグロウヒル社より出版。投資業務経験 12 年。シカゴ大学より理論物理学の博士号を取得。

以上

PIMCO について

パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー (PIMCO) は、南北アメリカ、欧州及びアジア・パシフィックに拠点を持つグローバルな資産運用会社です。PIMCO は、1971 年に南カリフォルニアで設立され、世界中の数百万人のお客様の資産運用ニーズに対応する多様で革新的な資産運用ソリューションを提供しています。徹底したリスク管理と長期の規律を持って魅力的なリターンを提供することが PIMCO の目標です。PIMCO は、グローバル多角金融サービス会社であるアリアンツ SE のグループ会社です。

ピムコジャパンリミテッドについて

ピムコジャパンリミテッドは PIMCO グループの日本におけるビジネスの拠点として 1997 年に設立され、1999 年に投資一任業務、2000 年に投資信託委託業務を開始、以来機関投資家・個人のお客様等へ向けて安定し付加価値のある資産運用サービスを提供しております。

105-0001

東京都港区虎ノ門 4-1-28

虎ノ門タワーズオフィス 18 階

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 382 号

加入協会: 一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会

ピムコジャパンリミテッドが提供する投資信託商品やサービスは、日本の居住者であり、かつ法律による制約のない方に対して提供するものであり、かかる商品やサービスが許可されていない国・地域の方に提供するものではありません。

過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

PIMCO は、アリアンツ・アセット・マネジメント・オブ・アメリカ・エル・ピーの米国及びその他の国における商標または登録商標です。THE NEW NEUTRAL 及び YOUR GLOBAL INVESTMENT AUTHORITY は、パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

P I M C O

(注)PIMCO はパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを意味し、その関係会社を含むグループ総称として用いられることがあります。

日本でのお問い合わせ先

ピムコジャパンリミテッド

田辺 朝子

03-5777-8534

asako.tanabe@jp.pimco.com